

戸田中央リハ病院、移転し11月開院

ニーズに合わせて増床

2019年10月3日 17:26



移転新築した戸田中央リハビリテーション病院

戸田中央医科グループの医療法人社団東光会は、新築移転工事を進めていた「戸田中央リハビリテーション病院」を11月1日、埼玉県戸田市新曽南にオープンする。新築移転に当たっては、高齢化に伴う回復期医療のニーズ増加に合わせ、71床増床して200床とした。10月3日に一般向けの内覧会を開いた。

同病院は2002年に同グループ初のリハビリ専門病院として開院。基幹病院の戸田中央総合病院の隣地で回復期医療を担ってきた。新病院は地上6階建てで、延べ床面積は8092平方メートル。1階のリハビリ室は315平方メートルの広さがあり、最新のリハビリ器具を導入した。2～5階の各病棟にも100平方メートルを超えるリハビリ室を設け、入院生活のあらゆる場面でリハビリができる病院を目指す。